

# The Social World of Butoh Dance: Screening an Unseen Performance from the 1970s

# 塩首

ポルトフォリオ BUTOH  
〈全編〉上映会

2023年12月2日 (土)

14:00 ~ 17:30 (開場は30分前)

慶應義塾大学日吉キャンパス  
来往舎シンポジウムスペース

横浜市港北区日吉4-1-1

東急東横線・東急目黒線・東急新横浜線  
・横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅下車

入場無料

Admission free



お問い合わせ：慶應義塾大学アート・センター  
108-8345 東京都港区三田2-15-45  
Tel: 03-5427-1621  
Contact: Keio University Art Center  
Email: [ishimoto@art-c.keio.ac.jp](mailto:ishimoto@art-c.keio.ac.jp)  
<http://www.art-c.keio.ac.jp/>

## ポートフォリオBUTOH 「『塩首』 〈全編〉 上映会」

### The Social World of Butoh Dance: Screening an Unseen Performance from the 1970s

VICコレクション\*より、北方舞踏派の結成記念公演『塩首』の上映会を行います。土方巽の一部監修を受け1975年に初演を迎えた山形県鶴岡市稲生町番田での公演の様子は、当時の舞踏家たちのつながりを示す稀有な資料です。また劇場への道中から、リハーサル、打ち上げまでを含む映像資料がコレクションには含まれており、通常アート・センターでしか閲覧できない資料を紹介する貴重な機会となります。ビショップ山田氏をお招きし、ポートフォリオBUTOHの森下隆（土方巽アーカイヴ）及び理工学部教授小菅隼人と共に当時の記憶を伺います。

\*VIC (Video Information Center | 1972-現在) は、70年代から80年代にかけビデオを用いて、多種多様なイベントの記録および実験的なテレビ放送（アパートでのCATV放送の試み「Paravision Ten」1978年）等を行った運動体です。

#### Date:

2023. 12. 2 (土) 14:00 ~ 17:30 (開場は30分前)

December 2nd (Saturday), 2023 14:00 start (Doors open 13:30)

#### Venue:

慶應義塾大学日吉キャンパス 来往舎シンポジウムスペース

横浜市港北区日吉4-1-1

東急東横線・東急目黒線・東急新横浜線・横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅下車

Keio University Hiyoshi Campus, Raiosha Symposium Space

Hiyoshi 4-1-1, Kohoku-ku, Yokohama Tokyu Toyoko Line Hiyoshi station

#### Organization:

主催：ポートフォリオBUTOH（慶應義塾大学アート・センター）

担当 小菅隼人・石本華江

本事業は、2023年度科学研究費「暗黒舞踏を芸術的カテゴリーとして確立するための実証的研究」（課題番号20K00156／代表：小菅隼人）の助成を受けています。

#### Timetable:

[第一部]

14:00 北方舞踏派 結成記念公演『塩首』 公演映像全編上映

[第二部]

16:30 鼎談「『塩首』とその時代」

ビショップ山田、森下隆（土方巽アーカイヴ）、小菅隼人（慶應義塾大学理工学部教授）

入場無料

Admission free



©VIC



#### ビショップ山田 プロフィール

ビショップ山田（山田一平、1948年2月17日-）は東京に生まれ、1968年～70年まで土方の元でダンサーとして出演する。1972年鷹赤兒らと共に大駱駝艦を結成。1973年《燐熾大踏鑑公演「踊り子フォービーと西武劇場のための十五日間」》〈静かな家前篇・後篇〉に出演、同年には大駱駝艦 天賦典式〈陽物神譚〉にて特別出演の土方とデュエットを行う。1974年山形県鶴岡市稲生町番田に北方舞踏派の稽古場として、舞踏塾グラン・カメリオを開く。1975年には《北方舞踏派結成記念公演》〈塩首〉公演を行う。1976年北海道小樽市にシアター兼居酒屋「海猫屋」を開き、1977年北方舞踏派を母胎とした女性舞踏団「鈴蘭党」結成。1984年には土方による演出・振付にて、《北方舞踏派公演》〈鷹ざしき〉を上演する。1998年国立キーウ・シェフチェンコ劇場バレエ団に舞踏を振付、演出する。キーウ公演及び東京芸術劇場にて来日公演を果たす。その後2018年に山梨県甲斐市上福沢を拠点に舞踏宿ソコミ〔命名 故・田中基〕を開設。ラスコー洞窟の動物壁画を描いた人間達の心とイメージをモチーフに2022年までホワイテ・ホリゾン芸術祭等にて3作品を上演、現在に至る。